



中2 国語 二—一

平成二十七年
度愛媛県学力診断調査 三 1・2・3・4

名前

組 番

三 古文の学習をしている山本さんは、新聞のコラムで知った「徒然草」の第一六四段を読みました。

【コラム】

通勤で電車を使っている。数十分の移動時間、スケジュールを眺めたり、読書をしたり、時には、何かの検定の勉強をしたりして過ごす。細切れの時間だが、ちりも積もれば何とやら、結構有意義に過ごしている。

しかし、驚くことに、私が乗車している数十分間、ずっと話をしている人たちがいる。時に盛り上がり、周囲のひんしゆくを買うことさえある。さて、何の話をしているのか。もれ聞こえてくるのは、うわさ話だ。有名人の名前、おそらく職場やご近所の人であろう名前、様々なうわさ話が繰り広げられている。思わず耳をふさぎたくなるのは、私だけではないだろう。

かの有名な『徒然草』（一六四段）の言葉を借りるならば、いくら話が盛り上がっても、無責任かつ信ぴょう性の薄いうわさ話をするのは、「(2)」だ。
いつの時代も、つまらぬうわさ話にうつつを抜き、その無益さに気づかない人のなんと多いことか。

【古文】

世の人相逢ふ時、しばらく黙止することなし。必ず言葉あり。そのことを聞くに、多く無益の談なり。世間の浮説、人の是非、自他のために、失多く得少し。

これを語る時、互ひの心に、無益のことなりと①いふことを知らず。

〔徒然草〕第一六四段より

※黙止：黙っている。

※人の是非：他人のよしあしを論じること。

〈現代語訳〉

世間の人々が互いに顔を合わせた時、少しの間も黙っていることがない。必ず何か話をする。その内容を聞くと、多くは無益な話である。世間のうわさ話や他人のよしあしを論じるところは、お互いにとつて、損失ばかり多くて得るところは少ない。

こんな話をしている時、お互い無益なことばかり言っているとは、なかなか気づかないものだ。

1 【古文】 中の——線部①「いふこと」を現代仮名遣いに直して、すべてひらがなで書きなさい。

2 【コラム】 中の (2) には、【古文】の一部が引用されています。最も適切な言葉を【古文】の中から六字で書き抜きなさい。

学習後、山本さんは、次のような感想をもちました。

【感想】

昔も今も、人のすることは変わらないなあと思いました。そして、そのことに対するとらえ方も共通していると感じました。コラムの筆者のように、兼好法師もきつと人がうわさ話をする様子を見て、(3) 思ったのでしょうか。「知らず」で話が終わっていますが、「無益」な話ばかりせず、もっと「(4)」な話をした方がいいという思いが隠されている気がしました。

3 (3) に当てはまる言葉を次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア そらぞらしく イ にながしく ウ さむざむしく エ ぎょうぎょうしく

4 (4) に当てはまる、「無益」の対義語を漢字で書きなさい。



中2 国語 二—二

平成二十七年
全国学力・学習状況調査 4—1

名前

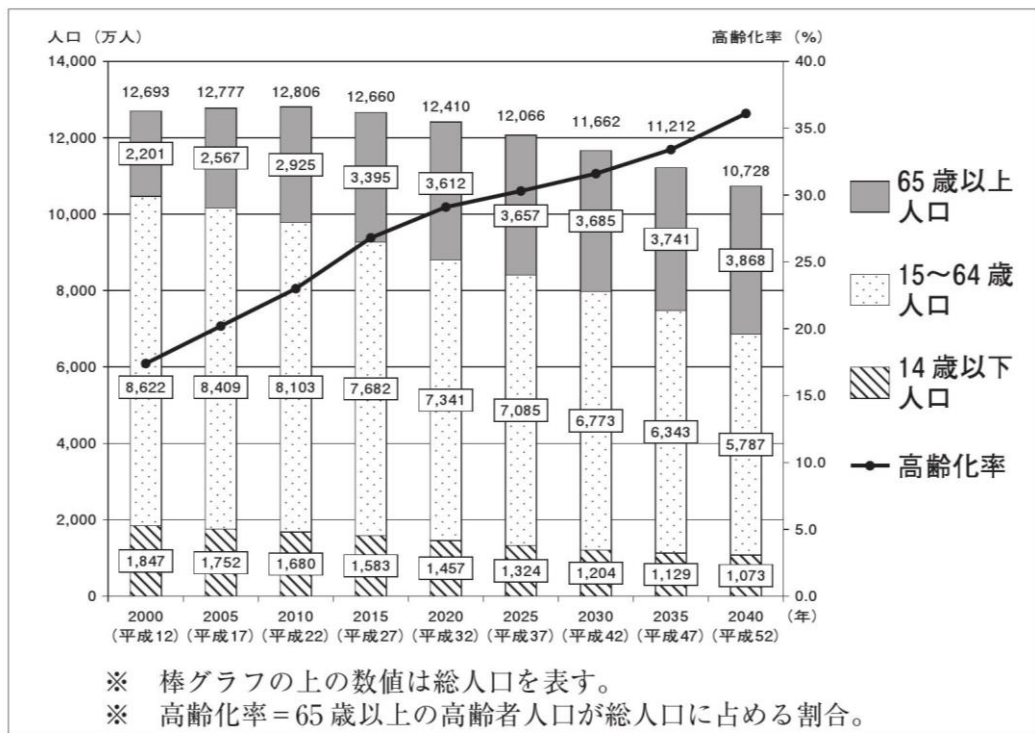
組 番

4

次は、西暦二〇〇〇年以降の「日本の人口推移を表したグラフ」(予想を含みます。)と、それを見て分かったことについて「田村さんが書いた文章」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

一 [] には、棒グラフの [] の部分の変化を読み取った内容が入ります。[] に当てはまる言葉を、「田村さんが書いた文章」の書き方を参考にして、十五字以内で書きなさい。

【日本の人口推移を表したグラフ】



※ 棒グラフの上の数値は総人口を表す。
※ 高齢化率 = 65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合。

(総務省ウェブページによる。)

【田村さんが書いた文章】

まず、棒グラフを見て分かることが四つある。

- ・ 二〇一〇年以降、総人口が減っていく
- ・ 十四歳以下の人口が減っていく
- ・ 十五〜六十四歳の人口が減っていく

そして、折れ線グラフから、高齢化率が上昇し続けていくことが分かる。二〇四〇年には、二〇〇〇年の二倍以上になっていると予想されている。